

私が目指す日本の教育

- 現在の活動とこれから -

スパークル 代表
釘田 真帆



釘田 真帆

- 奈良市在住 22歳
- 大阪芸術大学短期大学部 9月卒業

自己紹介

〈現在の活動〉

- ・放課後児童クラブ 補助員
- ・プログラミング教室のアシスタント
- ・小学生対象の学習塾の講師
- ・公立小学校の学習支援ボランティア





任意団体 スパークル

- 2024年 5月 結成
- 2024年 9月 活動開始

奈良市内の小学校で、放課後子ども教室の時間を使って
子どもたちが楽しめる様々なイベントの企画・運営

目次

私が目指す日本の教育

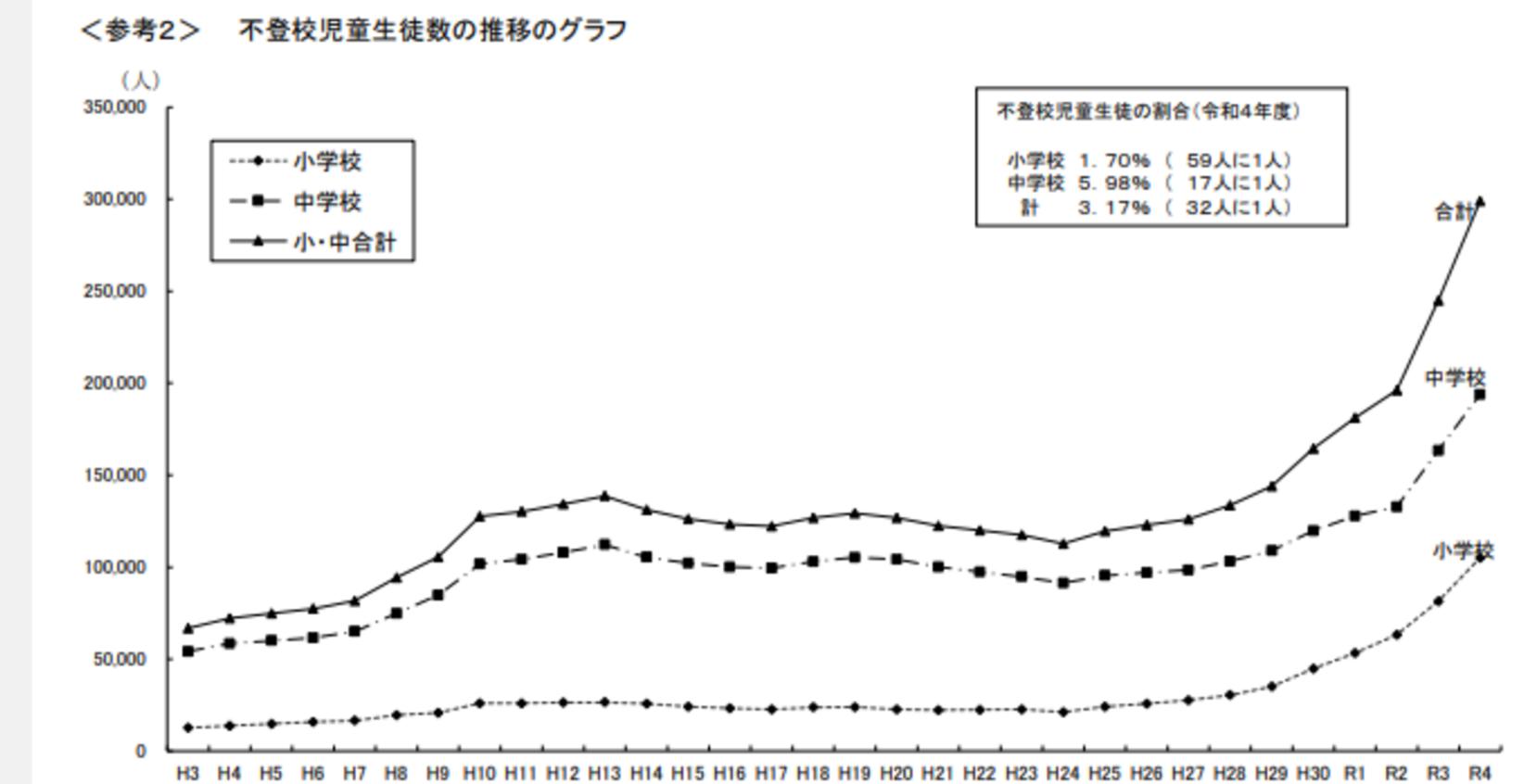
スパークルの活動

これからやっていきたいこと

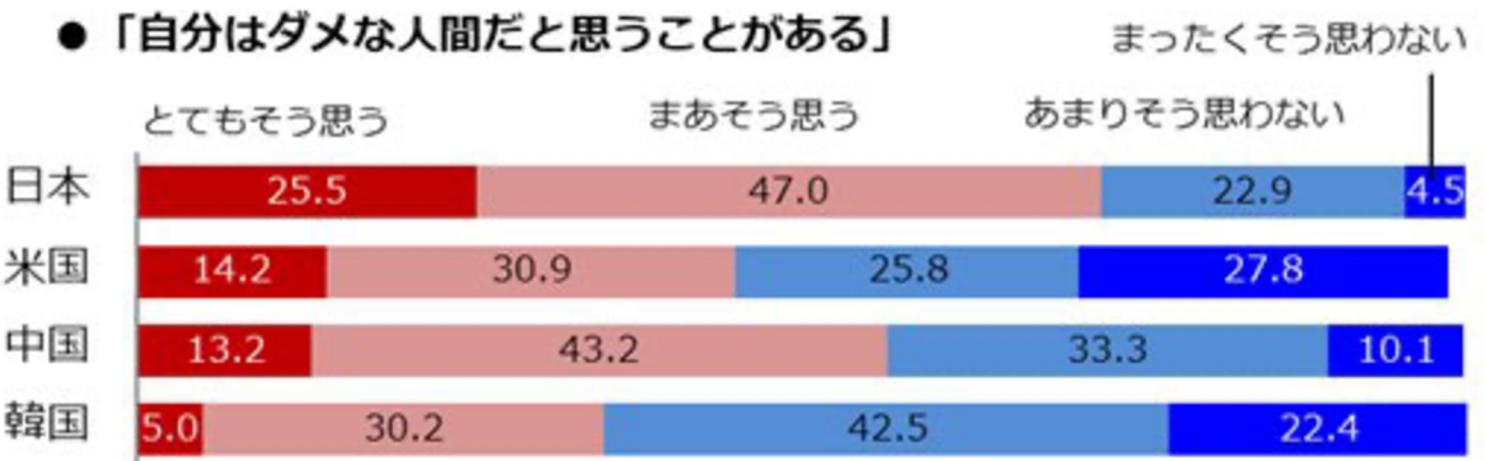
日本 の 子どもたち が
自 分 が 自分 で あるこ と に 誇り を 持ち、
ワクワク し て 生き て い っ て ほ し い

現在、日本が抱える問題

不登校・引きこもりの増加



●図表1：自己肯定感の国際比較



出典：国立青少年教育振興機構「高校生の生活と意識に関する調査報告書－日本・米国・中国・韓国の比較」2015年

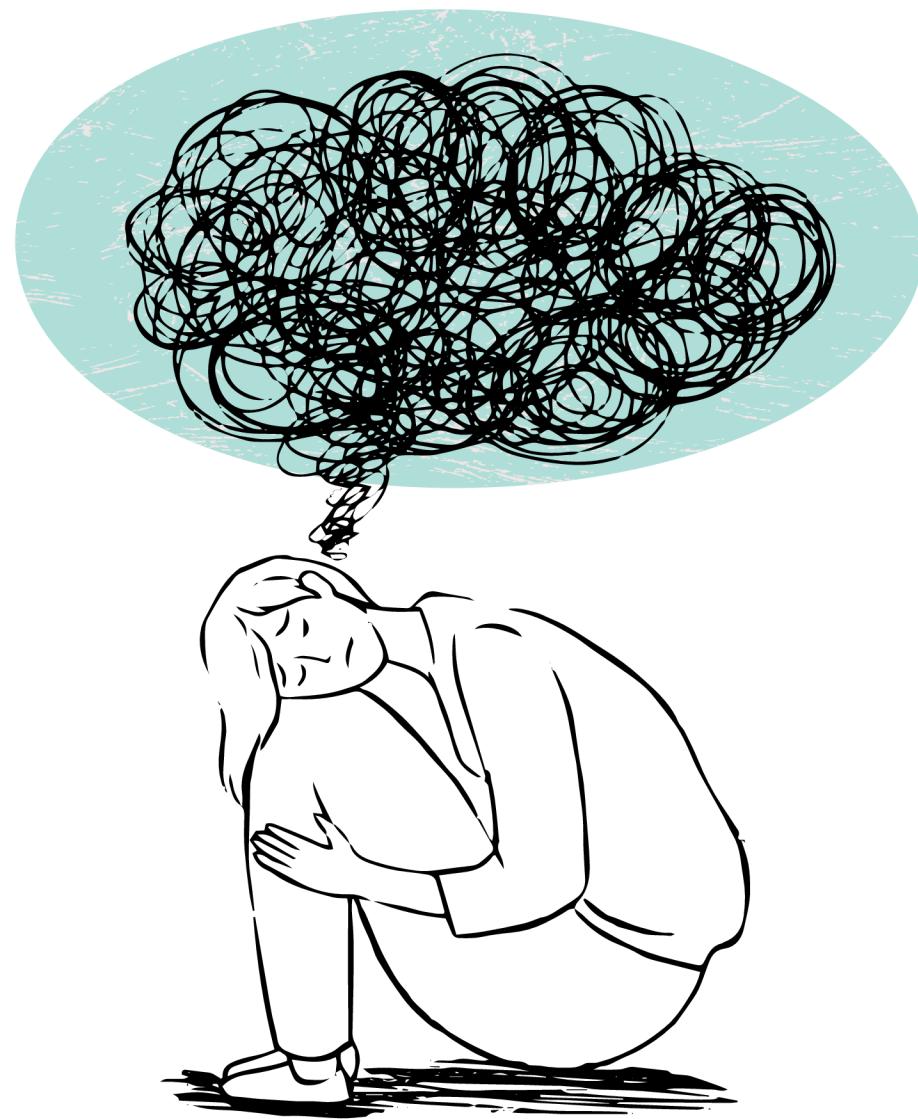
自殺者の増加
自己肯定感の低さ

子どもの幸福度ランキング (2020年 ユニセフ調べ)

総合順位	国	精神的幸福度	身体的健康	スキル
1	オランダ	1	9	3
2	デンマーク	5	4	7
3	ノルウェー	11	8	1
4	スイス	13	3	12
5	フィンランド	12	6	9
6	スペイン	3	23	4
7	フランス	7	18	5
8	ベルギー	17	7	8
9	スロベニア	23	11	2
10	スウェーデン	22	5	14
20	日本	37	1	27

(2020年 教育新聞より引用)

「自分なんかいなくなればいい」



周りからの愛を信じきれない

日本の子どもたちの
心にワクワクを溢れさせたい！

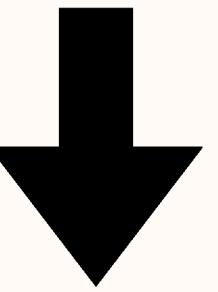


生きていく上で大切な「心」を育てるために
必要なものは・・・

教育



仕事＝誰かに幸せを届ける



一人ひとりが何かのプロフェッショナルになる！

必要な教育のカタチ：その過程をサポートする

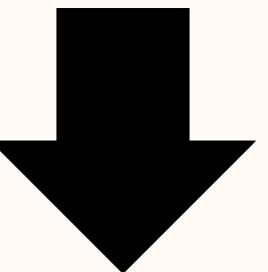
どのような力を育む？

- ★感じる心
- ★多様性の社会の中で生き抜くための対話力
- ★「自分ごと」として捉え、考え、実践する力

感じる心

感じる=体験する

「好き！」「楽しい！」「これはやりたくない」



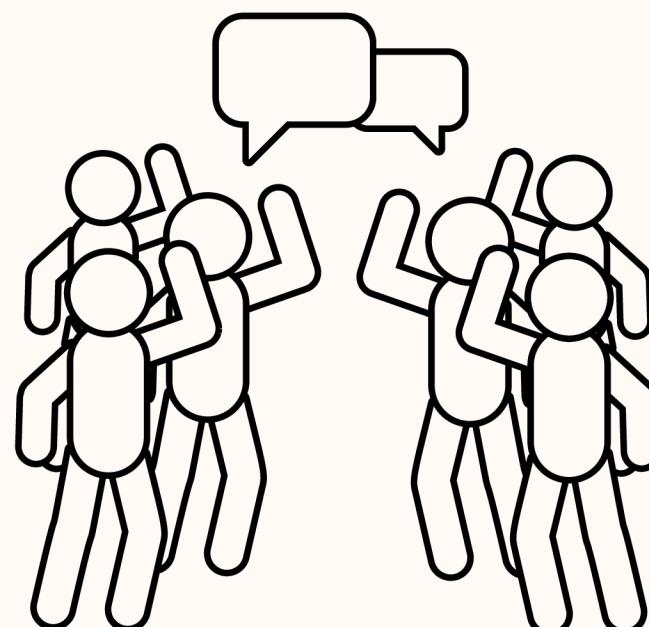
プロジェクト型学習

社会(チーム)の一部となって、他者と協力しながら
プロジェクトを進めていく

多様性の社会の中で生き抜くための対話力

対話力：本質を探究すること

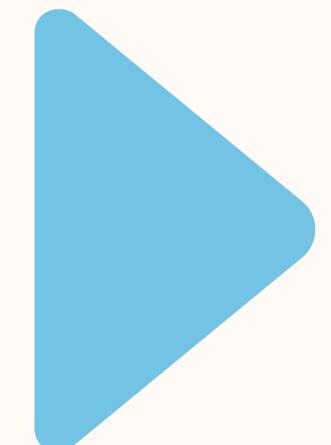
多様な人々が共生する社会 対立があって当然



対立



対話



受容

「自分ごと」として捉え、考え、実践する力

実践的な授業内容
(プロジェクト型)

問い合わせる
『私は
どう思う?』

自国のことを探る
(アイデンティティ
の確率)

他者と共有する
(対話)

「自分ごと」として捉える

ピースフルスクール (PSP)

1990年代、オランダでいじめや子どもの問題行動が増加。

この問題に対して、根源的なアプローチとして開発された市民教育の1つ
現在、オランダの15%の学校がPSPを導入している！

市民教育

- 1.個人の責任（秩序の維持や法の遵守）
- 2.社会参加
- 3.社会的正義の実現

これらを実践できる「市民」を育てるここと

実際の授業

Q. アブデル君は外に出て遊びます。彼の友人たちがすでにサッカーをしていました。彼が友人たちの仲間に加わりたいと言うと、拒まれてしまいました。

アブデル君は友達に腹を立てています。



子どもたち：グループ内で解決方法について話し合い、みんなの前で役になりきってロールプレイする。

対話

『問い合わせ』から始まる学び

体験

目次

大きな目標とその背景

スパークルの活動

これからやっていきたいこと



任意団体 スパークル

- 2024年 5月 結成
- 2024年 9月 活動開始

〈団体結成の背景〉

放課後に遊ぶ場が少なくなってきた

子どもたちの放課後の時間を盛り上げたい！



奈良市内の小学校で、放課後子ども教室の時間を使って
子どもたちが楽しめる様々なイベントの企画・運営



具体的な活動

バルシューレ

バルシューレとは...

ドイツで生まれたボール遊びプログラム

様々なボールを使って、様々なゲームを通して
色々な運動経験やゲーム経験を積むためのボールゲーム





目次

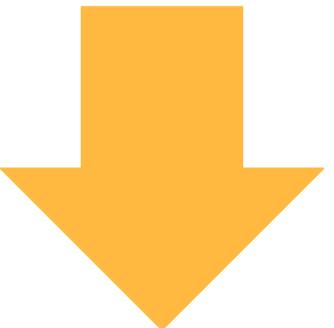
大きな目標とその背景

スパークルの活動

これからやっていきたいこと

スパークルのモットー

“誰もが集える地域の公園のような存在”



運動遊び以外の企画にも挑戦していきたい！

テーマ
「チームワーク」

ex) • 謎解き

- ダンボールで迷路作り
- 実験

etc.

●学生の経験の場としての役割



●放課後子ども教室だけでなく、 スクール単体のイベント開催



私自身のこれから

- スパークルの活動を地域で展開し、
子どもたちが気軽に集える地域の居場所作り
- 自分の理想とする教育活動を行う、
オルタナティブスクールを創る



ご清聴 ありがとうございました

